

# まほろば 秦野 通信

平成27年10月19日

秦野市役所市長室広報課

タイトル	<b>秦野市制施行60周年・図書館開館30周年記念 文学講演会 源氏物語への招待 ～看取りから見た光源氏～</b>
When (いつ)	平成27年10月31日(土曜日) 午後1時半～3時
Where (どこで)	市立図書館(秦野市平沢94番地の1) 視聴覚室
Who (だれが)	市立図書館
What (なにを)	秦野市制施行60周年・図書館開館30周年記念 文学講演会 テーマ 源氏物語への招待 ～看取りから見た光源氏～
How (どのように)	東海大学の元教授で文学博士の小林 千草(こばやし ちぐさ)氏を招き、講演会を開催します。 風雅な貴族であった光源氏が、夕顔・葵上・藤壺そして紫上を看取ることにより真の人的成長を遂げるその過程(プロセス)を、江戸時代の画家山本春正の挿絵を見ながら原文の素直な現代語訳で迎えます。
Why (なぜ)	秦野市制施行60周年、図書館開館30周年を記念して、文学講演会を開催します。
過去の実績	昨年度は古典の日・文学講演会として「源実朝の和歌の世界」を実施し、今年度は市制施行60周年・図書館開館30周年記念として、「T.Sエリオット」の講演会を開催しました。
今後の 取り組み	秦野市制施行60周年・図書館開館30周年記念の事業として、11月に「百人一首」をテーマに文学講演会を開催します。 また、12月には歌人の春日いづみ氏を招き、特別講演会を開催します。
問い合わせ	教育部図書館庶務奉仕担当 秋山、山口 0463(81)7012

## 参考

小林千草氏の著作である『絵入簡訳源氏物語』1～3(平凡社 2013～2014年)は、江戸時代のベストセラー、山本春正の「絵入源氏物語」より貴重な挿絵をすべて収録し、簡訳というリズムカルな現代語訳によって手軽に楽しめる本に仕上げた新しい源氏物語。

### 挿絵画家 山本春正

初代山本 春正 (やまもと しゅんしょう、慶長15年1月25日(1610年2月18日) - 天和2年9月8日(1682年10月8日))は、江戸時代初期の蒔絵師、地下歌人、国文学者。通称は次郎三郎・次郎兵衛・治三郎。舟木と号する。蒔絵師山本家の祖。

若い頃から歌道に志して「源氏物語」の研究に没頭して写本・注釈書を収集・研究していた京都の蒔絵師である山本春正は、初学者のための絵入本の出版を計画して慶安3年(1650)と承応3年(1654)に「絵入源氏物語」を出版した。